



2023年11月9日

各 位

会社名 株式会社 駅 探
代表者名 代表取締役社長 金田 直之
CEO 兼 COO
(コード：3646 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 小嶋 勝也
(TEL. 03-6367-5951)

特別損失（減損損失）の計上、2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と 実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第2四半期連結累計期間において、特別損失（減損損失）を計上いたしました。また、2023年5月10日に公表しました2024年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

併せて、2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

(1) のれん等の減損損失

当社グループの事業コンセプトである「From the Stations～駅から始めよう～」に基づき、地域の事業者のサービスと生活者のニーズを最適に結びつける「地域マーケティングプラットフォーム」を事業戦略として、様々な施策を推進してまいりました。その事業戦略の重要要素である事業者とユーザーを「つなぐ」の強化として、アドネットワークシステムを有する株式会社サークアを2021年4月1日に子会社化いたしました。

その後、業容拡大を図ってまいりましたが、2021年8月の改正薬機法以降、広告商材、配信メディアの縮小など、株式会社サークアの取り巻く外部環境の厳しさが増したことで市場が縮小傾向に向かい、同社の業績が当初想定していた計画を下回って推移しております。

新たな商材の拡大による既存事業の回復、当初の目論見であったアドネットワークの活用による当社とのシナジーの加速化を推進してまいりますが、直近の財政状態等を勘案して、監査法人と協議を行い、「固定資産の減損に係る会計基準」及び「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」に基づき、同社ののれん、顧客関係資産およびソフトウェアについて減損損失 683 百万円を特別損失に計上することといたしました。

(2) ソフトウェアの減損損失

当社グループは、収益の柱であった乗換案内等の有料会員サービスが、無料サービスの台頭、乗換案内のコモディティ化の影響で減少傾向にあり、これを補い、更に今後の収益の柱となる事業の育成に取り組んできました。その施策の1つとして、ドメインオーソリ

ティ（検索エンジンのランキングスコア）の高い乗換案内サイトを活用した「駅探 PICKS」を2021年11月に立ち上げました。

その後、コンテンツの追加、カテゴリーの拡大など、様々な施策を講じてまいりましたが、サイトのテーマ性が不一致と判断された場合に検索結果の評価が下がるドメイン貸しの規制強化により、当初想定していた収益効果が出ず、計画を下回って推移しております。

駅探メディアの構成を変更するなどの施策を実施し、一定の改善効果は見られておりますが、直近の財政状態等を勘案して、監査法人と協議を行い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、同事業に係るソフトウェアについて減損損失110百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 2024年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値の差異

(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	EBITDA※	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,166	93	△27	△26	△25	△4.79
実績値 (B)	1,941	37	△74	△71	△794	△163.91
増減額 (B - A)	△225	△56	△46	△45	△768	△159.12
増減率 (%)	△10.4	△60.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期 第2四半期)	1,529	153	63	65	48	8.85

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

3. 2024年3月期通期業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	EBITDA※	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,612	316	65	70	38	7.38
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	3,206	296	105	104	89	17.04

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

4. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、株式会社サークアにおいて、2021年8月の改正薬機法以降、同社の取り巻く外部環境は厳しさが増したことで、広告商材、配信メ

ディアの縮小による売上の減少、また、前連結会計年度で対応しておりましたチケットレス出張手配サービス「BTOnline」の改修作業において、期初に収束する計画としおりましたが、当第2四半期においても対応が続いており、想定のコストを上回ったため、前回発表予想を下回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益つきましても、前述の減損損失を特別損失に計上したことにより、差異が発生しております。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、精査を行っておりますが、当社グループを取り巻く環境の変化が激しいことから、業績の見通しについて、現時点で信頼性の高い数値の算定が困難なため、公表済みの業績予想を一旦取り下げ、未定としております。今後、現在推進している売上拡大、コスト削減施策の効果、株式会社サークアの回復状況、減損による減価償却費の減少など、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

なお、配当金につきましては1株当たり14円の期末配当を予定しており、前回公表予想からの変更はありません。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上